

教 科	国語	科 目	国語総合	単 位 数	2 単位
履修学年 (区分)	2 年 (必履修科目)	使用教科書 副教材など	精選国語総合（東京書籍） クリアカラー国語便覧（数研出版）	履修年度	令和 2 年度
科目の 目標	国語を的確に理解・表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。また、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				

評価 規 準 ・ 観 点 の 趣 旨	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしたか。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めたか。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを論理的にまとめ、深めているか。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。	伝統的な言語文化及び言葉や表現技法の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているか。
評価 方 法	授業への取り組み、発言、提出物の状況、考査の論述で確認する。	授業中の態度、発言、音読、朗読、ノート、メモ点検で確認する。	課題プリント、作文、ノート点検、相互評価、小テスト、定期考査で確認する。	発言、ワークシート、自己評価、課題プリント、定期考査で確認する。	発言、小テスト、定期考査などで評価する。
	上記の観点別評価を定期考査の結果と併せて、総合的に評価する。				

学期	月	時数	単 元・教 材	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	5	評論（1） 「今ここにある無数の未知」	○具体例と主張の関係を確かめ、内容や表現の仕方について評価し、書き手の意図をとらえる。	定期考査・授業中の活動・ノート・ワークシート・小テスト・提出物の取り組みの状況をもって総合的に評価。 「中間考査」 「期末考査」
	5	5	日記と随筆 「枕草子・五月ばかりなどに山里に歩く」	○古典の文法の基礎について理解を深める。 ○作品に表れた作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	
	6	5	小説（1） 「ドライクリーニング」	○現代を舞台とした作品から情景描写や登場人物の心情の変化を表現に即してとらえる。	
	7	6	寓話 「塞翁馬」	○長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ○話の構成や展開を確かめ、寓話の内容や表現の仕方について理解する。	
		3	漢字・文法・国語常識		
2 学 期	9	5	評論（三） 「時間と自由の関係について」	○論理的な文章の構成を理解し、筆者の考えを叙述に即して的確に読み取る。	定期考査・授業中の活動・ノート・ワークシート・小テスト・提出物の取り組みの状況をもって総合的に評価。 「中間考査」
	10	5	史話 「安子之御」	○史話に描かれた情景や人物の心情などを表現に即して読み味わる。 ○話の展開から登場人物の言動や心情を考える。	

	11	6	小説（2） 「城の崎にて」	○日本語や言語一般に対する関心や理解を深め、言語文化に興味をもつ。	「期末考査」
	12	5	軍記物語 平家物語「木曾の最期」	○繰り返し音読し、口承文学のリズムを味わう。 ○情景・心情に留意しながら内容を読み取る。	
		5	詩歌 「冬が来た」 「汚れつつまつた悲しみに」	○詩歌に親しみ、描かれた世界を読み味わう。	
		3	漢字・文法・国語 常識		
3 学 期	1	5	思想 「論語」	○漢文の訓読について理解を深める。 ○孔子の思想に触れ、その特徴を知る。	定期考査・授業中の活動・ノート・ワークシート・小テスト・提出物の取り組みの状況をもって総合的に評価。 「学年末考査」
	2	5	評論（3） 「真の自立とは」	○筆者のものの見方や考え方を読み取り、自分の考えを深める。 ○文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約や詳述をする。	
	3	5	言語活動 「情報を読み取る」	○多様なメディアから、それぞれの特色に注意しながら情報を読み取る。	
		3	漢字・文法・国語 常識		